

認証用ユーザーディレクトリとしてのAlma

Note

Primo VEを使用している場合、詳細については「[Primo VE](#)」を参照してください。

[メニューに戻る](#)

Note

外部システム(LDAPやSHIBなど)でパスワードを管理することが望ましいため、これはPrimoのPDSを設定する好ましい方法ではありません。下図に示すように、パスワードをAlmaに保存することは、Almaで内部ユーザーとして定義されているユーザーについてのみ可能です。Alma内でパスワードを管理するオプションは廃止されます。ゲストユーザーのパスワードは、GoogleやFacebookなどのOAuthに基づくアカウントを使用して管理する必要があります。詳細については、「[ソーシャルログインとEメールでのログイン](#)」を参照してください。

これは、主に図書館のゲストであり、機関のディレクトリの一部ではないユーザーに対して行われます。そのような場合、まず機関のLDAPを試すようにPrimoのPDSを設定し、この認証が失敗した場合はAlmaをユーザーディレクトリとして使用することをお勧めします。

PDS設定

このセクションでは、AlmaがPrimoのPDSとやりとりするために必要な設定について説明します。

バージョンの修正をPDSに適用

PrimoのPDSバージョンが2.1.1未満の場合、PDSコードに次の修正を適用する必要があります。

修正を適用するには：

1. CallHttpd.pmファイルを編集するため、次のコマンドを入力します。

```
pdsroot
cd program
vi CallHttpd.pm
```

2. CallHttpd.pmファイルから次の行を削除します。

```
'Accept-Encoding' => 'gzip, deflate',
```

3. ファイルへの変更を保存します。
4. 次のコマンドを入力して、Apacheサーバーを再起動します。

```
apcb
./apachectl stop
```

```
./apachectal_auto
```

呼び出し機関の設定

PDS設定が認証・承認用ユーザーディレクトリとしてAlmaを使用する場合、サーバーでファイルを手動で作成するか、PrimoバックオフィスのPDSウィザードを使用して、機関のtab_serviceファイルを作成する必要があります。

tab_service.<institute>ファイルは、機関のためのPDSから必要とされるサービスを定義します。各機関に1つのファイルがあります。

Note

PDSはPrimo側で設定されます。

tab_serviceファイルを手動で作成するには：

1. tab_service.<institute>ファイルを作成するには、次のコマンドを入力します。

```
pdsroot
vi tab_service.<institute>
```

2. 機関について、AUTHENTICATE、BOR_INFO、INSTITUTE_DISPLAYセクションを入力します。たとえば：

```
[AUTHENTICATE]
program = dps.pl
params = <Alma domain>.exlibrisgroup.com,80,BOR_AUTH,N
[END]

[BOR_INFO]
program = dps.pl
params = <Alma domain>.exlibrisgroup.com,80,BOR_INFO,N
[END]

[INSTITUTE_DISPLAY]
code = university
desc = university institution
lang = ENG
primo = UL
[END]
```

Note

現在、システム認証方法の名前はRosettaです。ただし、Almaにも使用されます。

3. ファイルへの変更を保存します。

PDSウィザードでtab_serviceファイルを作成するには：

1. [\[Primoホーム\]](#) > [\[継続的な設定ウィザード\]](#) > [\[PDS設定ウィザード\]](#) ページで、機関を選択します。

- ログイン情報を使用して、ウィザードに入ります。
- ウィザードを続行し、認証方法を定義します。現在、ウィザードは、Almaに適用する方法として**Rosetta**を使用します。

Primo Home > Ongoing Configuration Wizards > PDS Configuration Wizard

> **PDS - Configure Rosetta**

Method: Rosetta

Configuration of Rosetta Authentication Method

Host name/IP: qa.alma.exlibrisgroup.c

Port: 80

Operation code: BOR_AUTH

Use secure: Do not use secure
 Use secure

Cancel & Go Back To Authentication Methods

Save & Continue To Authentication Methods
Note: Will be saved in file only when Authentication Methods is saved

AUTHENTICATEセクションを定義

- ウィザードを続行し、bor-info属性を定義します。現在、ウィザードは、Almaに適用する方法として**Rosetta**を使用します。

Primo Home > Ongoing Configuration Wizards > PDS Configuration Wizard

> **PDS - Configure Rosetta**

Method: Rosetta

Configuration of Rosetta User Attributes

Host name/IP: qa.alma.exlibrisgroup.c

Port: 80

Operation code: BOR_INFO

Use secure: Do not use secure
 Use secure

Cancel & Go Back To User Attributes

Save & Continue To User Attributes
Note: Will be saved in file only when User Attributes is saved

BOR-INFOセクションを定義

PDS設定をテストするには：

1. Primoのフロントエンドをブラウザで開きます。サインインはしないでください。
2. [マイアカウント]を選択し、[個人設定]タブを選択します。

個人設定は表示されません。

3. [サインイン]を選択し、ログイン情報を入力します。
4. [マイアカウント]を選択し、[個人設定]タブを選択します。

ユーザー詳細が表示されます。表示されない場合は、ブラウザに次のURLを入力して、PDSのbor-infoが機能していることを確認します。

<http://primo1.staging.alma.hosted.exlibrisgroup.com:8991/pds?func=bor-info>